



2022年9月13日

株式会社 阿波銀行

沖野海運株式会社の「SDGs 宣言書」策定について  
～ お客さまの SDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、沖野海運株式会社（代表取締役 沖野 雅信、本社：徳島県小松島市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

#### 【企業概要】

企業名	沖野海運株式会社
所在地	徳島県小松島市南小松島町7番22号
代表者	沖野 雅信
業種	海運業
設立	1973年3月17日

#### ○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

# SDGs宣言書

2022年9月13日



## 沖野海運株式会社 代表取締役 沖野 雅信

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
社会・経済	労働時間の 是正	過重労働、長時間労働、サービス残業に関して、社員全員の共通課題と認識します。 発生防止にむけて様々な取組みを行い、PDCAを回しながら適切な労働時間管理を推進します。	① (1)働き方に関する社内委員会の設置 (2)ノー残業デー・有給取得推進日の設置		
			② 2025年までに船員有給休暇日数5%増		
社会・経済	コンプライアンス	会社の信用とステークホルダーの利益を守るため、強固なコンプライアンス体制の構築と意識の醸成を図ります。	① コンプライアンスマニュアル(従業員の行動基準や基本方針等)を作成・周知		
			② 2025年までにコンプライアンスマニュアルを作成し、社員全員へ配布		
環境・社会・経済	社会・環境に 配慮した消費の 推奨・実践	社会・環境に配慮した商品の購入・消費を企業として推奨・実践し、「エシカル消費」を推進します。	① エシカル消費に関する従業員向け研修の実施		
			② (1)年2回実施 (2)2025年度までに従業員全員が参加		
経済	経営理念・ 目標の発信、 浸透	経営層が自社の事業方針について社員一人一人に浸透するよう、主体的に努めます。	① 経営理念・目標に関する社長メッセージの発信		
			② 2024年度までに年2回実施		

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



#### SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。